



新日本空調株式会社

証券コード 1952

第51期 中間事業レポート

2019年4月1日 — 2019年9月30日





代表取締役社長 夏井 博史

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第51期第2四半期連結累計期間における日本の経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復傾向の継続が期待されています。一方、通商問題をめぐる緊張からのマインド低下、中国経済の先行き不安、英国のEU離脱の行方等の海外経済の動向や金融資本市場の変動に加え、消費税率の引き上げに伴う消費マインド低下などの不安要素が多く、先行きについては、当面弱さが残る状況で推移しています。

当建設業界においては、通商問題をめぐる緊張の影響が製造業の民間設備投資に影を落とし、また、都心を中心とした再開発案件などの不動産関連投資にも若干の停滞感が出てきていますが、技術者・技能労働者不足や資機材・労務費の上昇傾向は継続しています。また、AIやIoTを活用した技術革新への対応や、長時間労働対策、働き方改革による生産性向上への取り組みについては、今後の事業の継続・成長には欠かすことのできない課題です。

こうした環境の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績については、完成工事高522億9百万円（前年同四半期比6.1%増）、営業利益12億6千5百万円（前年同四半期比248.0%増）、経常利益15億3千万円（前年同四半期比168.7%増）、親会社株主に帰

属する四半期純利益9億7千9百万円（前年同四半期比98.6%増）となりました。また、受注工事高については、592億9千7百万円（前年同四半期比13.8%減）となりました。

なお、中間配当については、前年同期より5円増額し1株につき20円とさせていただきます。

中期経営計画「SNK Value Innovation 2020」

最終年度を迎えた中期経営計画「SNK Value Innovation 2020」の基本方針は「地球環境の保全と持続可能な地球社会の実現に貢献する環境ソリューションカンパニーとして、顧客や社会の要請に応え、2020年代への持続的成長と新たな企業価値の創造を目指す」ことであり、さらなる企業体質の進化を図るため、次の3つの経営課題を掲げ推進しています。

1. 顧客ロイヤルティの向上に向けた成長戦略の展開と推進
2. 安全・品質確保と生産性向上に向けた設計施工技術と情報技術の融合
3. 透明性の高い経営基盤の構築と社会ニーズに沿った経営資源活用の健全化

そして、中期経営計画「SNK Value Innovation 2020」のその後の10年間を見据えた当社の目指すべき方向性として、「SNK Vision 2030」の検討を進めています。スローガンに「新日本空調グループは、持続可能な地球環境の実現と、お客さま資産の価値向上に向け、ナレッジとテクノロジーを活用するエンジニア集団を目指します。」を掲げ、『持続可能な地球環境の実現』はESG（環境、社会、ガバナンス）経営・SDGs対応を実行していく企業であることを示し、『エンジニア集団』という言葉は、技術者のみではなく、管理営業系の従業員も含めた専門家の集合体を表現し、全てのステークホルダーとともに生きる世の中を包含した想いを込めています。

設立50周年

2019年10月1日に当社は設立50周年を迎えました。1969年に東洋キャリア工業の工事業部から分離独立して「新日本空調」としてスタートし、それから50年。パイオニア精神と技術者魂を大切にしながら、積極果敢なチャレンジを続けてきました。いま新たな50年へのスタートをきり、さらなる企業価値向上へ向けて、働き方改革・デジタル化推進・ESG経営への取り組みを「覚悟と信念」を持って推進し、社会の環境変化に応えながら、皆さまから信頼され、健全に発展を続ける『100年企業』を目指していきます。

株主の皆さまには、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

企業理念

「使命」

Fill your tomorrow

社会と自然の調和を育み、未来へ向けた思いを満たす。

人や社会、環境の調和を尊重し、また、つながりを大切にしながら、空調を核とする事業を通して、お客さまや社会からの期待に応える企業として、これからも社会に貢献します。

「価値観」

調和

社会と自然に敬意を払い、つながりを大切にします。

「社会へ向けて」

全ての人・社会・自然とのつながりと多様性を尊重します。

探究

豊かな発想力と熱意を持って、新たな価値の創造に挑みます。

「仕事の姿勢」

未来に対して大胆に挑戦し、創造力を発揮する専門性と人間力を磨きます。

真摯

何事にも強くしなやかに向き合い、期待に応えます。

「個人の資質」

アクティブでかつスピーディーでありながらも誠実さを大切にし、良い品質をお客さまに提供します。

絆

仲間と共に、わくわくしながら、成し遂げる喜びを分かち合います。

「仲間へ」

職場の仲間・協力会社の皆さんと、創造し提供する喜びを分かち合い、また、家族との大切な時間を共有することを大切にします。

会社の方針

当社グループは会社としてのエンゲージメントを「会社の方針」として、以下の13項目を掲げました。万一、本方針に反する事態が発生した場合、経営トップ自ら率先して問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努めることとしています。

コンプライアンス

公正な事業慣行

リスクマネジメント

情報セキュリティ管理

環境

労働安全衛生

ダイバーシティ

人権

労使関係

人材育成

地域コミュニティ

公平、公正な調達

品質



これまでの50年 —トピックス—

- ▶1969年10月 東洋キャリア工業(株)の工事事業部を分離し「新日本空調株式会社」設立
- ▶1971年 8月 原子力室(現:原子力事業部)開設
- ▶1972年12月 海外施設室(現:国際事業本部)開設
- ▶1973年 1月 大阪大林ビル(現:北浜NEXU BUILD)竣工 同ビルの空調設備の当社施工技術が1975年に空気調和・衛生工学会第13回技術賞を受賞
- ▶1979年 2月 当社の開発した「電算室専用パッケージ空調機(CPモデル)」が発明大賞考案功労賞を受賞
- ▶1984年 3月 大正海上火災保険本社ビル(現:三井住友海上火災保険駿河台ビル)竣工 同ビルに導入した当社省エネ空調システムが1986年に空気調和・衛生工学会第24回技術賞を受賞

- ▶1990年11月 東京証券取引所市場第2部に上場
- ▶1991年 7月 メンテナンス・整備工事対応のため100%出資会社の(株)ケイメイ(現:新日空サービス(株))を開業
- ▶1993年 9月 長野県茅野市に技術研究所(現:技術開発研究所)と茅野研修所を開設
- ▶1993年12月 東京証券取引所市場第1部に上場
- ▶1995年 5月 サッポロファクトリー設備工事での「積雪寒冷都市型アトリウムの環境・エネルギー計画」が空気調和・衛生工学会第33回技術賞を受賞



技術開発研究所

た。この先の50年へと続く『100年企業』を目指し、将来を担う若手社員を中心に企業理念を制定し、行動指針、てきました。「過去」から「現在」そして「未来」へ。今後もさらなる企業価値の向上に努めていきます。

ロゴマーク



快適な空気を創ることを、しなやかに伸びる羽で表現しています。さらに、これからの当社グループが未来へと羽ばたく姿勢を伝えています。4つの色味はそれぞれ、

ブルー(メインカラー)は水や空気、

グリーンは自然、

オレンジは熱と光、

パープルは信頼と調和

を表します。多色で多様性や他社とのつながりを意図しています。

コーポレート広告

4色の布を新しいロゴマークの羽と合わせるように表現しています。ロゴマークの色・躍動感を活かし、「未来から吹く風を感じるイメージから当社の見つめる先」を表現したデザインです。また、環境ソリューションカンパニーとして、人の暮らしや産業のための環境と、自然のための地球環境、ふたつの調和を目指すメッセージを込めました。



社史

設立50周年を記念して、当社の軌跡をまとめた 社史「新日本空調 50年の歩み」を発行いたしました。



設立50周年記念サイト

設立50周年記念の特設ウェブサイトを開設しました。ロゴマークをはじめ、新しくなったSNKブランドをより詳しく紹介しています。また、社長のメッセージムービーも公開しています。特設ウェブサイトは下記URLまたはQRコードよりご覧いただけます。

<https://www.snk.co.jp/50th/>



- ▶1998年11月 微粒子および気流可視化システム「ViEST®」を開発



微粒子可視化システム

- ▶2003年12月 中国(上海)に現地法人を設立
2008年7月にスリランカ、2010年12月にシンガポールにそれぞれ現地法人を設立

- ▶2007年 3月 都市型複合施設「東京ミッドタウン」竣工
当社はオフィスエリアの空調設備と施設全体の熱供給のプラント設備を施工



東京ミッドタウン

- ▶2007年 9月 本社を東京都中央区日本橋本石町から日本橋浜町に移転

- ▶2008年 9月 ポンプ制御技術「P-Q master®」を開発
当技術が2012年に空気調和・衛生工学会第50回論文賞を受賞

- ▶2010年 3月 当社が空調設備等を施工したシンガポールのホテル「マリーナ・ベイ・サンズ」が竣工



マリーナ・ベイ・サンズ

- ▶2013年 7月 熱源最適制御システム「EnergyQuest®」を開発

- ▶2015年 4月 当社保有技術の主要発信拠点SNK「e-Labo®」の3施設をオープン

- ▶2016年10月 日宝工業(株)の全株式を取得しグループ会社化

- ▶2019年10月 新たな50年のスタート『100年企業』を目指して

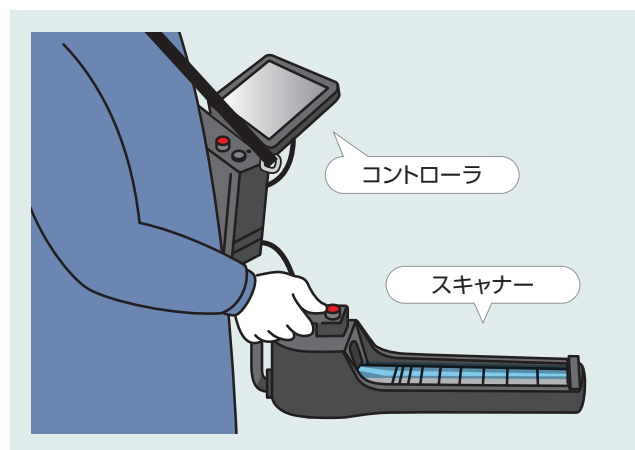


技術
開発

微粒子可視化システム Type-S を開発

当社は1990年代より、人の目では見られないさまざまな微粒子を可視化して映像化する『微粒子可視化技術』の開発を行ってきました。浮遊する塵や埃などの挙動を、 $0.1\mu\text{m}$ の微小な粒子まで可視化できる当技術は、エレクトロニクス関連の製造工場や、空気清浄機など家電製品の評価において長く活用されてきました。今回新たに開発した装置『微粒子可視化システム Type-S』は、光源とカメラを一体化し、片手で操作できる軽量のスキャナーと、タッチパネルモニターや画像処理ソフトならびにバッテリー電源を搭載したコントローラからなり、自由に持ち運びながら、極めて簡単な操作で、リアルタイムに微粒子の可視化と計数が同時に行えます。また、可視化計数できる最小粒子サイズは $0.5\mu\text{m}$ で、 $1/30$ 秒の高速な

サンプリングが可能です。当装置を用いることで、より説得性の高いデータ提供が可能となります。特に、医薬や自動車、モバイル機器などの製造工程の清浄度管理や、PM2.5をはじめとする粉塵環境の評価に活用できます。



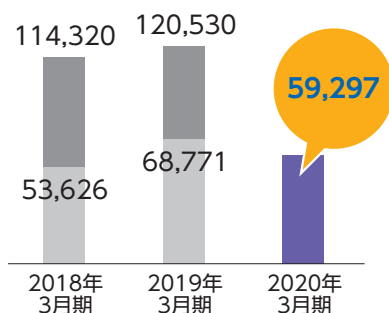
『微粒子可視化システム Type-S』使用イメージ

連結財務ハイライト

(単位：百万円)

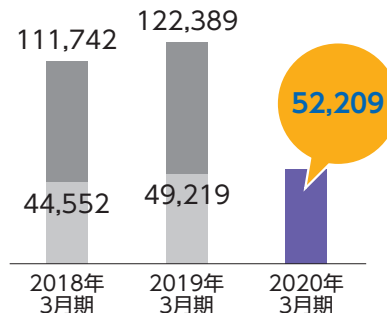
■ 受注工事高

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



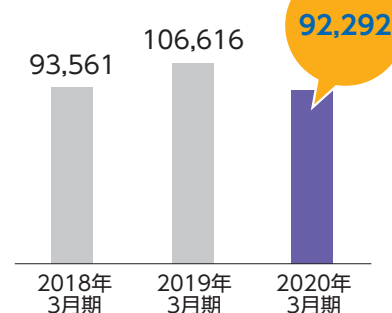
■ 完成工事高

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



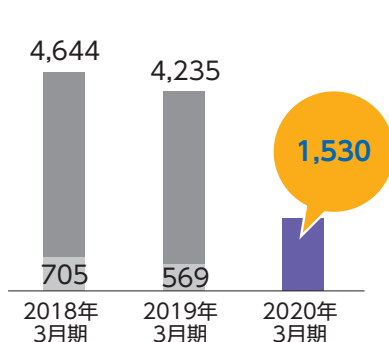
■ 繰越工事高

■ 第2四半期

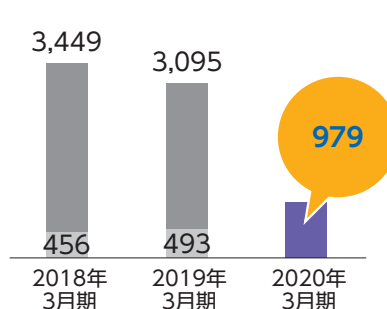


■ 経常利益

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)

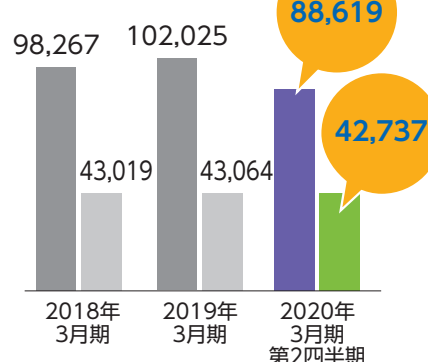
■ 親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



■ 総資産・純資産

■ 総資産 ■ 純資産



■ 当社の概要

商 号	新日本空調株式会社 Shin Nippon Air Technologies Co., Ltd.
設立年月日	1969年10月1日
本社所在地	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル
資 本 金	51億5,860万円
従 業 員 数	1,639名(連結)、1,105名(単体)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	84,252,100株
発行済株式の総数	24,282,225株
株主数	5,039名

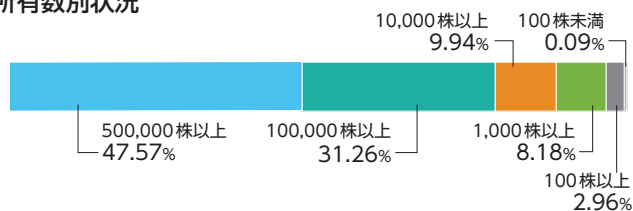
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
新日本空調協和会	1,969	8.41
三井物産株式会社	1,266	5.41
株式会社東芝	1,255	5.36
株式会社三井住友銀行	1,006	4.30
三井住友信託銀行株式会社	1,000	4.27
新日本空調従業員持株会	879	3.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	799	3.41
日本電設工業株式会社	760	3.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	664	2.84
株式会社東京エネシス	571	2.44

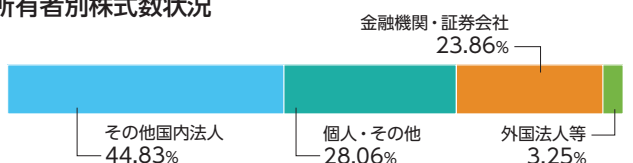
(注) 持株比率については、自己株式を控除した株式数より算出しております。

■ 株式分布状況

所有数別状況



所有者別株式数状況



個人・その他	4,690名	外国法人等	62名
その他国内法人	232名	金融機関・証券会社	55名

■ 役員

代表取締役社長	夏井 博史	社外取締役 (非常勤)	森信 茂樹
取締役 常務執行役員	洲野 聡志	社外取締役 (非常勤)	水野 靖史
取締役 常務執行役員	赤松 敬一	監査役	楠田 守雄
取締役 常務執行役員	大宮 祥光	社外監査役	野水 秀一
取締役 上席執行役員	下元 智史	社外監査役 (非常勤)	鶴野 隆一
取締役 上席執行役員	遠藤 清志	社外監査役 (非常勤)	東海 秀樹
取締役 上席執行役員	山田 勇夫		

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	☎ 0120-782-031
1単元の株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページの下記アドレスに掲載して行います。 https://www.snk.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
各種お手続き	氏名・住所変更、単元未満株式の買取等、株式に関する各種お手続きは、ご利用の証券会社へお問合せください。 なお、未払配当金のお支払いおよび特別口座に関するお問合せについては、三井住友信託銀行にて承っております。
未払配当金および特別口座に関するお問合せ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (受付時間: 平日 9:00～17:00) URL: https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主優待のご案内

対象となる株主さま

- ① 毎年3月31日現在の株主名簿に記録された300株以上の株式を保有する株主さま
- ② 毎年9月30日現在の株主名簿に記録された300株以上の株式を保有する株主さまのうち、2年以上継続して保有している株主さま

優待品・贈呈時期

- ① 2,000円相当のカatalogギフト 毎年6月下旬予定
- ② キッズスマイルQUOカード1,000円分 毎年12月上旬予定